

## ATI認定 樹護士®アーボリスト®第2次審査 エバユエイター 評価採点票

受験者氏名	NAME (ローマ字記載 姓名)	性別	血液型
電話番号	住所		
携帯電話 緊急連絡先	続柄 ( )		
エバユエイター1 氏名	エバユエイター2 氏名	日時 DATE	
試験会場	住所		

## エバユエイター&amp;受験者 事前確認 重要事項 (この評価採点票は公開されています。)

- ・「樹護士アーボリスト」認定審査は、アーボリストの名を冠するにふさわしい専門職人としての基本的スキルを評価認定するものです。高木管理の現場作業において使用するギア類の適切な取捨選択、フィールド計画と設計、チーム作業の連携と安全、適切なクライミングおよびワークポジショニング、そしてリギング技術の基本スキルについて評価を行い認定します。
- ・この認定のための評価は、得点数だけで合否を決める通常の実技試験とはやや異なり、アーボリストの現場実践に必要な基本的スキルの理解度や修得度を各セクションの試技の総合評価として認定するものです。エバユエイターは受験者に対する質問などを伴って評価を行っていきます。認定評価される内容と課題は事前に細かく提示されています。
- ・受験者は評価エバユエイターからの質問や指示ある時は自らの試技について追加説明したり実技の修正ができなくてはなりません。
- ・評価エバユエイターは受験者が、事前にこの認定審査の「目的」と「内容」を十分に理解していることを確認します。実際の現場作業を想定した各セクションでは、アーボリストとしてふさわしい適切な現場仕事の遂行を想定した課題が与えられます。
- ・チャンピオンシップ競技時の採点基準とは異なります。また「マスターアーボリスト」など熟練技術を身につけたレベル認定ではなく、基本に則ったベストプラクティスの遂行を評価認定します。
- ・受験者に不明な点がないよう、セクション開始事前に質問を受けつけます。
- ・評価エバユエイターは、受験者の要請ある時に必要に応じてGWT役としてチーム作業としての補佐をすることがあります。
- ・評価エバユエイターは、受験者の試技や説明が不十分である場合には、再質問などを行い、それでも改善が見込めない場合には、該当の項目について「警告注意」を与え、または各評価項目の可否を評価します。
- ・致命的なミスまたは累積の警告注意や未達成項目がある時には、「失格」となります。原則として各セクション毎に「警告注意」3回で「失格」となります。各セクションごとに「合格」または「失格」の認定評価を行い、「失格」のセクションについては後日の再受験とします。再受験となる場合も受験者は要改善の項目と内容を評価エバユエイター(以下 エバユエイター)から詳しく伝えられます。
- ・TW/CSの既認定資格ある者が実技評価を受ける場合は、カッティングとリギングに該当するセクションに限定して評価認定が行われます。
- ・基礎を学び、現場実践を反復し、全てのセクションで評価認定に合格した者は、認定「樹護士アーボリスト」の称号を冠して業務遂行にあたることが認められます。

## 総合評価 (5~7 各セクション結果)

5.ワークプラン	失格	合格
6.クライミングチェックとワーククライミング(切り替え)	失格	合格
7.ワーククライミング(バランスによる枝おろし+3mリムウオーク[ティップタイ])	失格	合格
エバユエイター総合評価	失格	合格

コメント


## 5. ワークプラン

このセクションでは、樹木作業に臨む際のワークプラン構築の適確性を評価認定します。  
樹木およびフィールドの精査点検の結果、ワークプラン概要の説明を10分以内で行ってください。

※指定された枝をチーム作業として安全に下ろすことを想定し、リギング作業でのゾーニング、チーム人数、役割分担、レスキューの役割などについて計画と構想を説明します。

**【受験者が用意するもの】**

- ・インスペクションとプランニングの為の手許メモを作成する準備をします。ヘルメットを着用。

**【エバユエイターが事前に準備するもの】**

- ・必ずしもタイムツリーではない樹木の一部の枝のリギング作業が想定できるように準備します。樹木とフィールドの双方のインスペクションを想定します。

エバユエイターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告注意
<p>エバユエイターは、事前に対象樹木と想定する作業内容を伝えます。危険な枯れ枝があることを仮定し、その枝を降ろすことを作業目的として伝えます。</p> <p>「現場の作業計画の想定を説明して下さい。仕事で使用している作業計画チェックシートなどがあればそれを使用して説明することもできます。メモなどを作成しても構いません。」</p> <p>・受験者が、枝を下ろす際のドロップゾーンやセイフティゾーンの指定を含むリギング作業計画を説明できることを評価します。 またグラウンドワークテクニシャンとの協力連携などチーム作業の想定やレスキューの計画も説明できることを確認します。</p>	グラントワークテクニシャンと協働連携する作業計画の概要説明		
	・セーフティゾーン、ドロップゾーンなどゾーニングの説明	Complete Incomplete	
	・指定された枝を吊り降ろす計画と手順、必要な作業についての概要の説明	Complete Incomplete	
	・想定するクライマーの登攀ルートについての説明	Complete Incomplete	
	・事故が発生した場合のレスキュー対応に関する説明	Complete Incomplete	
警告注意の回数	回	セクション合否結果	
セクション4. このセクションの結果		失 格	合 格

## 6. クライミングチェックとワーククライミング（切り替え）

このセクション6は、次のセクション7との連続でワーククライミングセクションとして同じフィールドにて行います。このセクション6では、実際のワーククライミング樹上登攀作業のうち、安全なクライミングのための基本的手順、およびメインロープの樹上切り替えの試技を認定評価します。所要時間はセクション6とセクション7を合わせて40分間で、受験者は決められたスローラインに自らのクライミングシステムを設定し、基本的なMRSクライミングを試技します。オンロープのコールとともに時間スタートします。安全のためのコールとともに、樹上到達時には樹上でのインスペクションを行います。さらにセカンドロープへの樹上切り替え作業を確実にに行います。

- 【受験者が準備するもの】
- ・認められたギアの中からこのセクションに必要なギアを選択して使用します。
  - ・クライミングに際しては、MRSクライミングシステムを使用します。

- 【エバユエイターが事前に行う準備】
- ・ファーストアンカー、セカンドアンカーを準備します。
  - ・セカンドロープへ切り替える箇所の指定をします。

エバユエイターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告注意	
<p><b>クライミングチェック</b> エバユエイターは受験者に対しクライミングチェックについて以下の指示と説明を行います。 「持参したロープ等を使い、MRSクライミングのための下記の下記の2つのヒッチシステムを作って下さい。適切な安全確認の後、それぞれのシステムで3m以上安全登攀し、合図の後、安全下降して下さい。この際、フットアセンドャーやフットループの使用も認められます。適宜必要なコールも行ってください。フリクションヒッチとして、ブレイクスヒッチ、ディステル、シュワピッチ、フレンチブルージック(VT)のいずれかを使用してください。何らかのフリクションセーバーを使用してください。」 ・フリクションヒッチは都度のドレスアップの必要なく確実に制動するように出来ていることが要件です。 ・アンカーチェックの際は、エバユエイターが補佐を行うこと。 ・クローズドヒッチの際、末端アイ付のロープを使用し、マイクロプリー等を組み合わせることも認められます。</p> <p><b>ワーククライミング（切り替え）</b> エバユエイターは安全なクライミングおよびセカンドロープのへ切り替えについて以下の指示と説明をします。 「安全な樹上登攀およびセカンドロープのへ切り替えを試技して下さい。この木は既にタイムツリーであることが確認されていますが、最低限のインスペクションは必ず行ってください。指定された目標の枝までクライミングし、樹上でのインスペクションも行います。」 「切り替えの最中は常時バックアップが確保されているようにしてください。」</p> <p>【警告注意について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定以上のスリップは警告注意の対象となります。</li> <li>・危険なスリップやアンコントロールスイングまたはオフロープ状態は失格となる場合があります。</li> <li>・メインロープ変換時以外の適切なランヤードタイインの失念については警告注意とします。すべての作業時にはランヤードで確保し、ランヤードのタイイン、タイオフについて都度コールを確認します。</li> <li>・ランヤードが弛んでいたたり、適切なポジショニングが完成していない場合は警告注意となります。</li> <li>・重要なコールを3回以上失念した場合は警告注意となります。</li> <li>・樹上でのインスペクションを失念した場合には警告注意となります。</li> <li>・警告注意は、その都度樹上の受験者に伝えられ内容を説明します。この間、時間計測は止めます。</li> <li>・クライミングに際してはセクション5で行ったシステムと同様のフリクションヒッチを使います。ここでも制動などが不十分な場合には試技の継続は認められません。</li> <li>・ランヤードポジショニングやコールなどを、地上のエバユエイターがチェックすることは極めて大切なことであり、エバユエイターはグラウンドワークテクニシャン役としての振舞いを視野に置き助言と評価を行います。</li> </ul> <p>【失格】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セクション内で累計3回の警告注意で不合格となります。4回以上のincompleteがあると失格となります。</li> <li>・グラウンドワークテクニシャンに対する適切な説明や指示が不足していたり、受験者またはグラウンドワークテクニシャンが著しく危険となる状況では失格となることがあります。</li> <li>・過度に危険なスリップやスイングまたはオフロープ状態は失格となります。</li> <li>・時間内にすべての課題が達成できない場合には失格となります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノットチェック (ダブルフィッシャーマンズループ)</li> </ul>	P / F		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンヒッチシステムと基本的なクライミング (ブレイクスヒッチを使用)</li> </ul>	P / F	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クローズドヒッチシステムと基本的なクライミング ※下記のフリクションヒッチから1つを選ぶ。(ディステル、シュワピッチ、フレンチブルージック(VT))</li> </ul>	P / F	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライミングシステムを設定しアンカーポイントの安全と、システム全体の安全を確認する。(アンカーチェックの際は、エバユエイターとともに行う要請を行う)</li> </ul>	Complete Incomplete	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランヤードでタイインする。</li> </ul>	Complete Incomplete	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランヤードタイインを維持し樹上でのインスペクションを行う。</li> </ul>	Complete Incomplete	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランヤードでタイインした状態で、セカンドロープへのタイインをしメインロープの切り替えをする。</li> </ul>	Complete Incomplete	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドアンカーポイントとセカンドロープシステムの安全確認する。</li> </ul>	Complete Incomplete	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなステーションで使用するロープが下降の為に十分な長さであることを確認する。</li> </ul>	Complete Incomplete	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初のMRSクライミングロープをオープンロープし、地上へ下ろす。 (この際、グラウンドワークテクニシャン役はシステム回収を補助)</li> </ul>	Complete Incomplete	
	警告注意の回数                      回		セクション合否結果	
	セクション5      このセクションの結果	失 格	合 格	

## 7. ワーククライミング（バランシングによる枝おろし+3mリムウオーク[ティップタイ]

このセクションは、前セクション5に引き続いて行います。  
 樹上にて前セクションで使用したメインロープを切り替え、セカンドロープにオンロープした時点からはじまります。  
 地上のグランドワークテクニシャンGWT役と連携しての作業を基本とし、あらかじめ指定された枝をバランシングの設定で伐り、吊り降ろす一連の作業を模擬（実際には伐らない）で行います。  
 まず、オープンロープしたロープをGWT役に樹上から指示をして降ろします。次に指定された枝のバランシング吊り降ろしに最適ナリギングブロックの位置を2箇所の候補位置から選択し、樹上でのリギング設定を完成させます。この際、地上のロウリングデバイス設置の作業を指示したり、必要なギア類を要求する指示をします。併せてタグラインを設置する要否も判断し、地上との円滑なコミュニケーションを取り合い試技します。どのような設定を予定しているか、地上からもよくわかるように説明をしなければなりません。受験者はリギングの設定完了の後、切断作業のために最適なワークポジショニング姿勢をとり、リムカット（模擬）作業となります。  
 エバユエーターの合図の後、樹上のリギング用ギアをすべて安全に且つ地上と連携しながら降ろす安全作業を行います。  
 最後にクライミングダウンし、オープンロープした段階で試技終了となります。

【受験者が用意するもの】  
 持参した全てのギアの中からこの作業に必要なギアは全て準備します。  
 【エバユエーターが行う事前準備】  
 ・この評価採点においてエバユエーター1人がGWTグランドワークテクニシャン役を担います。GWT役は受験者の指示ある場合のみ補助作業を行います。不明な点があれば受験者に質問をすることもできます。  
 ・リムカットする部分（切断予定箇所）にテープを巻いて表示します。  
 ・リギングブロック設置の候補となる場所2箇所にテープを巻き表示します。どちらがより適切な位置か受験者が自ら判断し選択できるようにします。（1箇所はより適切な位置、もう1箇所は最適できない位置とします）

【受験者への注意事項】  
 ・クライミングロープを使って引き上げることのできるギアは、リギング用ロープ1本のみとします。リギングを持ってクライミングするか、後からグランドワークテクニシャンに樹上に送り上げてもらうか選択し、いつでも要請ができます。  
 ・受験者は樹上で行う作業の内容について逐次説明をしながら行います。アジャスタブルバランシングのリギングシステムと必要であればタグラインの設置を完成させてください。  
 ・どのような枝の切り方をするのか、枝の動きの想定も事前に説明しなくてはなりません。グランドワークテクニシャンに対して、安全で適正な立ち位置やロウリングデバイスの巻き数なども指示し説明します。  
 ・タグライン設置する際は、樹上での結び方や枝の切り方、引く方向やタイミングなどの手順をGWT役に指示し説明してください。  
 ・実際には枝の切断や枝下ろしの行為は実施しませんが、安定な吊り状態を保つことフリクションコントロールの加減についても十分に説明ができなくてはなりません。  
 ・安定したバランスを保つためのリギングシステムの修正は、3回迄認められます。所定時間の範囲内ですべてを終わらせてください。  
 ・ロウリングデバイスは受験者がクライミングアップする前に自分で取り付けてください。

エバユエーターが評価する内容と要点	評価項目	C/I	警告注意
エバユエーターは、以下の指示と説明をします。 「指定された枝の剪定のため、アジャスタブルバランシングで制御されたリギング吊り伐りとしてのリムカットを行う設定を完成させてください。その際、地上のグランドワークテクニシャンへの指示や説明など十分な連携をして作業を行ってください。リギングブロックの設置箇所は2つの箇所から選択できます。地上でのリギングギアの設置やタグラインの要否なども判断して必要な作業を指示してください。リムカットの準備がすべて整ったところでコールをしてください。」 コールがあった後、エバユエーターは以下の質問を行います。 「どのような理由でそのリギングブロックの場所を選択しましたか。」 「タグラインを設定した理由(または設定しなかった理由)を説明してください。」 「すべてのリギング用ギアを樹上から降ろし、クライミングダウンしてください。」 ※ 枝の長さ3m以下、80kg以下の想定です。 【警告注意】 適切な手順で課題を遂行することは重要であるが、受験者が危険な場合や作業の意図が不明な場合には、エバユエーターは必要な助言や警告注意を行います。 ・適確ではない結びがあって改善できない場合には、警告注意となります。 ・ランヤードの使用が不適確で改善できない場合には、警告注意となります。 ・意図せず物を落とした場合は、警告注意となります。 ・作業の目的や意義を説明できない場合は警告注意となります。 ・一定以上のスリップは警告注意の対象となります。 ・重要なコールを3回以上失念した場合は警告注意となります。 ・警告注意は、その都度樹上の受験者に伝えられ内容を説明します。この間、時間計測は止めます。 【失格】 ・セクション内で累計3回の警告注意で不合格となります。4回以上incompleteがあると失格となります。 ・グランドワークテクニシャンに対する適切な説明や指示が不足していたり、受験者またはグランドワークテクニシャンが著しく危険となる状況では失格となることがあります。 ・過度に危険なスリップやスイングまたはオフロープ状態は失格となります。 ・時間内にすべての課題が達成できない場合には失格となります。 受験者が樹上のギアを回収し、地上ギアの撤収を指示して地上に降り「オープンロープ」をコールして終了となります。 リギングロープ1本に限り、ロープダウンのコールをして意図して落下させることは認められます。	・ノットチェック（ロープとロープの結束）シートベント又はクイックヒッチ(地上での試技を行います)	Complete Incomplete	
	・ノットチェック（枝とリギングロープの結束）ランニングボーラインまたはクローブヒッチ+2ハーフヒッチ（樹上または地上での試技を行います）	Complete Incomplete	
	・3mリムウオーク。制御された姿勢で、指定の箇所から3m先までの間をリムウオークする。	Complete Incomplete	
	・バランシングのためのティップタイ。リムウオークした先でランヤードタイインし、指定された箇所に安定したポジショニングでリギングロープを結束する（バランシングシステムの片側）。	Complete Incomplete	
	・適切な結びとともに最適なアジャスタブルバランシングの状態。	Complete Incomplete	
	・枝下ろしの際のロウリングデバイスの巻き方の指示指導。	Complete Incomplete	
	・具体的なカutting方法の説明とグランドワークテクニシャンに対してリギングロープ他の適切な取り扱いの指示や説明。	Complete Incomplete	
	・ブロックとリギングロープ、その他のギア類を適切に取り扱い、安全で制御されたバランシング吊り降ろしが設定できていること。	Complete Incomplete	
	・すべてのリギング準備を終えて最適なワークポジショニング姿勢とコールを行い、カutting模擬を行う。	Complete Incomplete	
	・エバユエーターからの問いかけに確実な説明ができ試技の要点を理解していること。	Complete Incomplete	
・いかなるリギングギアも樹上に残すことなく、安全に下降する。地上のリギングギアは撤収の指示を行うこと。	Complete Incomplete		
警告注意の回数	回	セクション合格結果	
セクション7.	このセクションの結果	失格	合格